

【連載】※月1連載 船釣りの作法

釣技
技食

全長133センチ、指幅9本のスーパードラゴン。
わずかな時にモタレを察知して掛けた

其の二十五 大阪府泉佐野出船のタチウオ 関西トーナメントの作法



▲大阪湾のドラゴン狙いで右に出る船がないと言われる上丸。さすがの指幅9本



▲大阪湾ではイワシとサンマエサが使用される。エサ持ちではサンマに分がある



◀小型が先に掛かってしまうことが多い。この小型をかわし、ときに利用してドラゴンを狙う



いかに型をそろえるか、が現在の関西トーナメント上位者に求められるスキル

樋口さんはサーベルマスターリミテッド91HH190で小型をかわしつつドラゴンを狙う



「型を入れ替える」
吉田さんと樋口さんは、型をそろえる
取材の舞台はキングバトルの決勝戦が行われる泉佐野の上丸。村上利行船長の操船で洲本沖水深100メートル前後を狙っていく。

大阪湾の遊漁船を舞台に開催される「タチウオキングバトル」にて、昨年優勝したのが樋口輝さん。5年前、その樋口さんを船釣りに誘ったのが2018年優勝、昨年も決勝まで勝ち進んだ吉田昇平さんだ。
同大会は予選では数のみを競うが、準決勝と決勝は一定の大きさ（肛門全長26cm以上）からカウント対象となるため、型を意識しながら釣らなくてはならない。
タチウオの大きさを意識して釣り分ける……。そんなことができるのかと思いが、吉田さんと樋口さんは「できる」と言う。

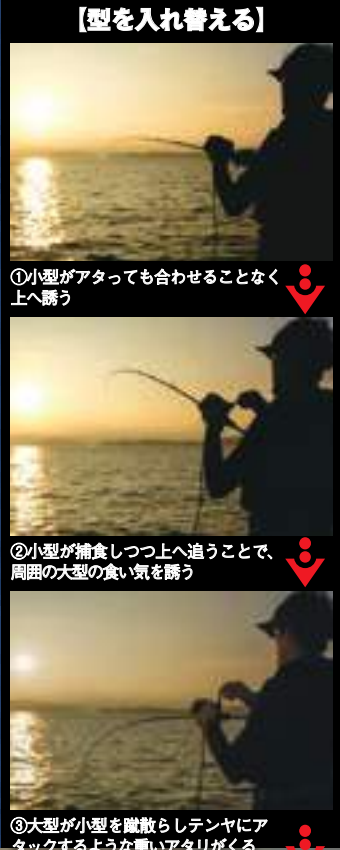
○吉田昇平 2018年タチウオキングバトル優勝。大阪湾をホームグラウンドにタチウオやマダコなどテクニカルな釣りを好む。

○樋口輝 2022年、船釣りキャリア5年にしてタチウオキングバトル優勝。タチウオ釣りでは型狙い、数狙いどちらもこなす。



大型を狙って釣る

作法



- ①小型がアタっても合わせることなく上へ誘う
- ②小型が捕食しつつ上へ追うことで、周囲の大型の食いを誘う
- ③大型が小型を離れしテイヤにアタックするよう重いアタリがくる
- ④本アタリと呼べる強く大きな引き込みに合わせていく。この釣り方はなるべく下から誘い、長い距離、小型を連れていくと効果大きい

[モタレを察知ドラゴンを釣る]

①ストップ・アンド・ゴーで誘い、小型らしきアタリがあっても合わせない

②クラッチを切って3メートル落とし、たところで小型のアタリとは異なるモタレを察知

③スーッと聞き上げ、重さを確認して合わせる。超絶ともいえる手感とレスポンスでドラゴンをとらえた樋口さん

[サーベルマスターリミテッド 91HH170]

●SPEC 全長1.70m、2本継ぎ、仕舞寸法124.2cm、自重153g、テンヤ号数30～60号、カーボン含有率98.8%、価格=8万2500円

樋口さんの自己記録となる131センチ

大阪湾定番といえるグロー（左）を軸に、小型の反応が強すぎる時はナチュラル系のNイワシ（右）を使用。当日の最大はサーベルマスター船テンヤNイワシにヒットした

大阪湾テンヤタチウオ タックル

吉田昇平の使用タックル ()は樋口様

漁糸=タナトルB 2号

年=サーベルマスターリミテッド 82MH180 (サーベルマスターリミテッド 91HH170)

リール=フォースマスター600 (20フォースマスター6000H)

リーダー=フロロカーボン 10号3m

テンヤ=サーベルマスター船テンヤ 40号

「この釣り方はアタリはもちろん、周りに魚がいる気配まで分かる感度のいい竿を使っていると圧倒的に有利です」

吉田さんが使う竿はシマノ最高峰の最新フラッグシップモデル・サーベルマスターリミテッド 82MH180。

まさに、小型のアタリを起点に、大型に「入れ替える」のだ。

驚くことに、この技は、開始直後から見る事ができた。

「この釣り方はアタリはもちろん、周りに魚がいる気配まで分かる感度のいい竿を使っていると圧倒的に有利です」

吉田さんが使う竿はシマノ最高峰の最新フラッグシップモデル・サーベルマスターリミテッド 82MH180。

◀吉田さんに勝られて船釣りを始めた樋口さん。情報交換しつつ釣技を高めている

[サーベルマスターリミテッド82MH180]

「正直、そこまでリミテッドは嫌いとか懐疑的でしたが、使った瞬間、圧倒的な操作性と感度よさに驚きました。明らかに全てが一段階以上向上しているの、フォースマスター600など電動を使ってもブレず、疲れにくい、82MH180は全国で使えるスタンダードな調子ですが、レスポンスと感度に優れているので91のような、早く攻撃的な釣りもできる82といえます (吉田昇平)」

82MH180

●SPEC 全長1.80m、2本継ぎ、仕舞寸法134.2cm、自重148g、テンヤ号数30～60号、カーボン含有率98.8%、価格=8万2000円 ※発売2023年10月発売予定

▲【高弾性素材によるブランクス】

最高峰・リミテッドのみに採用される高弾性素材をベースにシマノロッドテクノロジーを余すことなく注入。その操作性と快適性の高さは一振りて体感できるレベル

▲【カーボンモノコックグリップ】

触れている部分に情報を伝えるカーボンモノコックグリップはハイレゾタイプにより軽量と高剛性を両立

タックルの作法

ドラゴンの気配を捉える感度とブレない操作性。

◀◀【Xシートテクニカルガングリップ】

フロントトリガー部の設置で安定性に加え、優れた操作性を実現した左右両用【Xシートテクニカルガングリップ】

▶フロントトリガー部に指を掛けることで操作性が飛躍的に向上

◀フォースマスター600とのマッチングも秀逸。ロッドアクションと同時に行うタッチドライブの正確性はまさに「瞬間・精密」

[激短カーボンソリッド穂先]

91HH170は超高感度・激短カーボンソリッド穂先を搭載。余分な動きを極限まで抑えた超硬仕様

「竿先が一瞬で止まらなると分からない変化が、竿がピタッと止まるからよく分かる。これは、Xシートテクニカルガングリップの効果が大きいと思います」

一方、樋口さんはサーベルマスターリミテッド91HH170。「非常に硬い竿ですが、その特性を生かして、竿先で弾くようにして小さなタチウオを外し、大型に追わせる釣りをしていきます。感度がとてもよいので、変化がよく分かります」

超ハイレスポンスな91HH170で小型のアタリを避ける樋口さんは、潮が変わった一瞬、大型ならではのモタレを察知。聞き上げからの合わせて掛け、全長131センチのドラゴンを釣り上げた。小型の濃密な魚影はアタリの多さに

食の作法

タチウオのフリット

～ビールのあてに最高の一品～



①三枚におろしたタチウオを食べやすい大きさに切る

②ボウルに小麦粉100gとベーキングパウダー小さじ1を入れて軽く混ぜ、水を100cc加えて軽く混ぜる

③フライパンに2センチほどオリーブオイルをひいて熱し、衣を付けたタチウオを揚げる

④軽く色がついたら、油を切って完成。シンプルに塩でいただくのがおすすめ

YouTube SHIMANO TV 公式チャンネルにてご視聴いただけます。

Presented by SHIMANO ©取材協力 / 大阪府泉佐野・上丸

